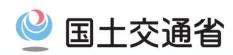
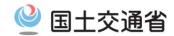
資料3

平成29年7月18日(火)10:00~12:00 第3回 港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策検討委員会

高潮の規模について



高潮の規模の分類



- <u>高潮のみならず、暴風、高波</u>といった港特有の事象についても検討の対象とする。
- <u>高潮の規模を2分類(中・小規模及び大~最大規模)</u>し、それぞれに応じた対応策 を検討する。
- 気象庁の発表する気象情報を確認し、高潮の規模に応じた対応を行うこととする。

検討 ケース	規模	対象高潮	気象庁の発表 する 警報等 ^{※1}	参考:想定する台風規模の例
1	中・小規模 高潮の 可能性	防護ラインより海側 で被害が生じる 規模の高潮	高潮注意報 または 高潮警報	
2	大規模 高潮の 可能性	海岸保全施設の設計に用い る規模の高潮 又は地域特性を考慮したよ り低い(安全側の)高潮	高潮警報 または 高潮特別警報	〇三大湾の海岸保全施設の設計対象 中心気圧:930hPa (伊勢湾台風級)*2 最大旋衡風速半径:75km (伊勢湾台風級)*2 移動速度:73km/h (伊勢湾台風級)*2 〇過去、高潮災害を引き起こした台風の例中心気圧:930~990hPa 最大旋衡風速半径:75km~ 移動速度:40~73km/h
	最大規模 高潮の 可能性	想定する最大規模の高潮	高潮特別警報	中心気圧:910hPa(室戸台風級) ^{※3} 最大旋衡風速半径:75km (伊勢湾台風級) ^{※3} 移動速度:73km/h (伊勢湾台風級) ^{※3}

- ※1 高潮の規模に応じて発表が想定される高潮特別警報・警報・注意報のうち、最もレベルの高いもの。
- ※2 東京湾、三河湾・伊勢湾、大阪湾沿岸海岸保全基本計画による。
- ※3 「高潮浸水想定区域図作成の手引き」(海岸4省庁等 H27.7)の考え方による。